

## 第9章 社会連携・社会貢献

## (1) 現状の説明

点検評価項目①：大学の教育研究成果を適切に社会に還元するための社会連携・社会貢献に関する方針を明示しているか。

## 【評価の視点】

1：大学の理念・目的、各学部・研究科の目的等を踏まえた社会連携・社会貢献に関する方針の適切な明示

- 1) 大学として、「社会連携・社会貢献に関する方針」を定め、ホームページに掲載している。学是「仁」と理念「不断前進」に基づき、国際的研究・教育拠点として、地域社会、産業界、国際社会等との幅広い連携活動を展開し、教育・研究・臨床の成果を広く社会に還元することにより、社会連携・社会貢献・国際協力を積極的に推進していくことを基本方針としており、「社会連携」、「産学官連携」、「国際社会への貢献」の項目について、それぞれ方針をまとめている。

(大総務2-1 法人ホームページ 「各種方針」)

## 《社会連携・社会貢献について》

- 1) 社会連携・社会貢献については、以下の方針を明示している。

- ・ 本学の教育・研究・臨床成果及び人的資源等を活用して地域社会との連携活動を推進し、地域社会の持続的発展に貢献するとともに、本学における教育研究活動の活性化を図ります。
- ・ 法人直轄組織として社会連携推進室、各キャンパス及び各医学部附属病院に社会連携推進室分室を置き、社会連携の推進を図ります。
- ・ 各キャンパスの所在する周辺自治体と連携協力して、医学、スポーツ健康科学、看護学、国際教養学、保健医療学等の分野について、地域住民に対する公開講座・公開講演会・スポーツイベント・健康教室等を充実させ、生涯学習の要望に応じていきます。
- ・ 医学部附属病院群は、高度先進医療を積極的に実践するとともに、地域医療の中核病院としての役割を果たします。具体的には、各病院の特色に合わせて次のような取組みを推進します。①日常診療におけるスムーズな病病連携、病診連携の推進、②地域の医療従事者への医療情報の提供、③医師会や自治体主催の講演会等への講師派遣、④地域住民に最新の医療情報等の学習機会を提供する市民公開講座・研修会の開催
- ・ 高大連携活動を積極的に展開し、高校生に対して大学で学ぶ意義や大学での学修に必要な能力・態度についての理解を深めるよう取組みます。

- 2) 「学校法人順天堂社会連携推進室運営規程」において、社会連携に必要な事項を定めている。

(大社連9-1 学校法人順天堂社会連携推進室運営規程)

- 3) 各学部及び大学院研究科では、社会連携・社会貢献に関する方針を個別に定めており、それぞれのシラバス、学生募集要項やホームページ等に公表・明示している。

(大総務9-1 各学部・研究科の社会連携・社会貢献に関する方針)

## 《産学官連携について》

- 1) 産学官連携については、以下の方針を明示している。

- ・ 産学官連携活動を促進するため、研究戦略推進センターの体制を強化し、次の方策を実施します。
- (1) 企業・他大学・研究機関等との連携活動に積極的に取組み、研究成果を社会に還元します。
- (2) 寄付講座及び共同研究講座の設置や共同研究・受託研究のより一層の外部資金・人材受け入れに努め、教育研究の活性化・多様化を図ります。
- (3) 研究倫理に関するルールに基づいた適正な研究の遂行と研究費の適正管理に努めます。

- 2) 「順天堂大学産学官連携ポリシー」において、教育と研究という基本使命に加えて、研究成

## 第9章 社会連携・社会貢献

果の社会還元を第三の使命とし、本法人における産学官連携活動の活性化を図る方針を明示している。研究戦略推進センター内の「産学官研究連携推進室」を中心に産学官連携を推進している。

(大研戦9-1 順天堂大学産学官連携ポリシー)

(大研戦9-2 順天堂大学研究戦略推進センター管理運営内規)

- 3) 「順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程」において、本学の研究開発の推進及び革新的医療技術を実用化まで導く研究活動の発展を図る方針を明示している。また、オープンイノベーションプログラム GAUDI (Global Alliance Under the Dynamic Innovation) ホームページ等に、ライフサイエンス分野における研究開発の促進と開発シーズの社会実装化を使命とし、企業や他大学等、学内外を対象とした研究開発支援に取り組む方針を公表・明示している。

(大革新8-1 順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程)

(大革新9-1 GAUDI パンフレット)

### 《他学との連携について》

- 1) 他学との連携については、他の大学及び高等学校との間で教育・研究等に関する連携協定を個別に締結し、そのなかで連携・協力に関する具体的な方針を定めている。なお、連携協定締結先数は、大学間は延べ45校、高大間は3校となっている。

(大総務9-2 連携協定締結先一覧)

### 《国際社会への貢献について》

- 1) 国際社会への貢献については、以下の方針を明示している。

「順天堂大学国際化ビジョン」に基づき、以下の取組みを行います。

(教育活動の国際化)

1. 国内外の高等教育機関との連携を図り、若手研究者の海外派遣や学生の留学に向けたプログラムの充実と支援体制の強化を図ります。
2. 外国人教員や留学生の受入れを拡大し、協働して学びあう教育環境の充実を図ります。
3. 異なる言語や多様な文化をもった国内外の地域やコミュニティとの教育的な連携を強化します。

(研究活動の国際化)

1. 国内外の大学・研究機関等との研究ネットワークを強化し、基礎臨床融合・異分野連携研究を始めとする共同研究を拡大することによって研究の高度化・深化を図ります。
2. 国際的研究拠点に相応しい研究環境の整備や臨床研究拠点としての大学病院群の機能の充実を図り、産学官の有機的な連携をもってイノベーションの創出に取り組めます。
3. 本学の独創的な研究成果等を国際学術誌等に速やかに公開するとともに社会への還元を進めるため国際シンポジウム等を積極的に開催します。

(学内体制の国際化)

1. 国際交流センターが中心となり、教育・研究の国際戦略を企画立案し、全学的な組織体制を強化します。
2. 本学に在籍した留学生・研究者等の海外ネットワーク組織の強化を図ります。
3. グローバル化に対応する教職員の育成を図ります。
4. グローバル・リーダーシップ育成推進奨学金により若手研究者等の海外留学等を推進し、国際的に活躍する人材の輩出に努めます。

- 2) 教員及び学生の国際交流や国際共同研究・教育等具体的な業務については、「順天堂大学国際

## 第9章 社会連携・社会貢献

交流センター運営規程」に基づき「国際交流センター」がその役割を担っている。

(大国交9-1 順天堂大学国際交流センター運営規程)

(大国交9-2 順天堂大学 国際化ビジョン)

**点検評価項目②：社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果等を適切に社会に還元しているか。**

【評価の視点】

- |   |
|---|
| 1：学外組織との適切な連携体制<br>2：社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究の推進<br>3：地域交流、国際交流事業への参加 |
|---|

### 《社会連携・社会貢献について》

- 1) 自治体との連携については、東京都文京区をはじめ、千葉県内では佐倉市、成田市、酒々井町、白井市、印西市、習志野市、栄町、浦安市、富里市の9自治体、静岡県では三島市、伊豆の国市の2自治体、他に埼玉県川口市、愛知県東郷町及び愛媛県砥部町と連携協定を締結し、教育の振興、スポーツの発展、健康支援など地域社会の発展に寄与することを目的とした取り組みを継続的に実施している。
- 2) 連携協定を締結した自治体とは、社会連携推進室、各キャンパス及び附属病院の分室が連絡を取り合い、必要に応じて連絡協議会等の場を設け、自治体の要望等に対応している。各キャンパス及び附属病院を拠点に公開講座等への講師派遣、自治体イベントへの参加等による地域住民との交流、地域貢献活動、スポーツ教室等の開催が活発に行われ、地域に根付いた事業となっている。
- 3) 各学部・研究科では、公開講座・シンポジウム等の開催、学校施設の開放、見学会の実施、ボランティア活動等、様々な分野で積極的に展開している。  
(大総務9-3 各学部・研究科・附属病院における社会連携・社会貢献の取り組み)

### 《産学官連携について》

- 1) 産学官連携については、2013(平成25)年度から2014(平成26)年度にかけてCOI-T(トライアル)拠点として採択された文部科学省「研究成果展開事業 センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム」の活動が評価され、本学と立命館大学との連携拠点がCOI拠点として2015(平成27)年度に決定した。本プログラム(運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点)では、空間価値を変える新しいスポーツ健康技術(スマートウェア技術、空間シェアリング技術、運動誘導/継続技術)(立命館拠点)と、寝たきりゼロを目指す「ロコモの見える化と予防法の開発」(順天堂拠点)をハイリスクではあるが実用化の期待が大きい異分野融合・連携型の基盤的テーマに対し、集中的な支援を行い、産学が連携する研究開発チームにより社会実装を目指している。  
2019(令和元)年5月、立命館大学びわこ・くさつキャンパスにてスポーツイベント「エキスポーツ2019~くさつ・しがSDGs交流大会」を同学サスティナブルウィーク実行委員会と共同開催し、当拠点の取り組みをスポーツ・健康に関連する新たなビジネスを創出する企業等に向けて公開した。その他、本学拠点参画企業である東急不動産(株)の施設(らくティブ)や東郷町施設サービス(株)にてロコモ度チェックや体力測定会、一般社団法人100年健康アドバイザー協会による検定の監修などを行った。2019(令和元)年9月、立命館大学びわこ・く

## 第9章 社会連携・社会貢献

さつキャンパスにおいて、COI ビジヨナリーチーム（ビジョン1：松田譲リーダー）によるサイトビジット（拠点訪問）が実施され、本学及び立命館大学からプロジェクトの進捗状況について報告を行い、2020(令和2)年2月、VL 面談としてサイトビジット評価が行われた。

(大研戦9-3 大学・大学院ホームページ 本学について 教育改革の取り組みなど センター・オブ・イノベーション (COI) )

2) 2015(平成27)年7月31日、国立大学法人鹿屋体育大学と相互に連携及び協力し、体育・スポーツ分野における教育研究を発展させるとともに、本分野において我が国の先導的な役割を果たすための連携協定を締結し、共同研究を進めている。

(大ス9-1 学校法人順天堂と国立大学法人鹿屋体育大学連携協定書)

3) 個別企業・団体等との間においても、次のとおり連携協定を締結し、それぞれの分野において共同研究等の取り組みを展開している。

(1) 国立研究開発法人理化学研究所：相互の研究能力と人材を活かし、国内外の学術及び技術の振興と有為な人材の育成に資することを目的として、連携基本協定を締結（2012（平成24）年4月26日付）。本協定に基づき、順天堂大学の豊富な医療実績、臨床現場からのニーズと理化学研究所のシーズを活かして、多くの共同研究を実施している。

(大革新9-2 順天堂大学と理化学研究所が包括的基本協定)

(2) 花王株式会社：「健康を科学する」という共通テーマのもと、両組織の連携・協力関係を推進するために、研究包括契約を締結（2015（平成27）年6月2日付）。本契約に基づき、社会のニーズに即した革新的な技術開発とその早期実用化を推進し、グローバルなイノベーションの創出を目指す為の共同研究が進められている。

(大革新9-3 順天堂大学と花王が産学連携の研究包括契約を締結)

(3) 東急不動産株式会社：2015（平成27）年10月29日付で包括的連携協定を締結した。本協定により、本学と東急不動産は互いが有する資源を有効に活用し、相互の発展を通じて我が国が全世界に先駆けて直面する超高齢社会の課題を解決する新たなプログラムを構築し、健康長寿社会の実現を目指す。既に本学では、COI プログラムでの連携に加え、寄付講座「ジェロントロジー：医学・健康学応用講座」を設置し、学問的なアプローチから、楽しく、寛げる、動ける、語らう、食べることの可能な住空間システムのハード面・ソフト面の開発を進めている。

(大総務9-4 学校法人順天堂と東急不動産株式会社が包括連携協定を締結)

4) 2014(平成26)年6月23日、一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と、連携協定を締結しており、大会に向け様々な取り組みを進めている。具体的な事例として、公開講座、事前キャンプの受け入れを想定した大学施設の開放、オリンピック・パラリンピックに関わる体験会やスポーツ教室の実施等がある。オリンピック選手の育成・強化、監督・コーチ及びサポートスタッフの輩出、キャンプ地誘致活動への協力・支援などを行っている。また、2018(平成30)年6月22日、同組織委員会から、5つの競技会場における会場医療責任者又は同副責任者の派遣及び観客用医務スタッフの派遣について要請を受けた。これに対し、医学部附属病院の協力を得て必要人数の派遣を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で2021(令和3)年に延期することとなった。

5) 2019(平成31年)3月に「UNIVAS」大学スポーツ協会が発足し、本学は発足時から「UNIVAS」に加盟した。本学は UNIVAS と共に学びの環境を充実させ、安心して競技に取り組めるよう

## 第9章 社会連携・社会貢献

サポートしている。また、「大学スポーツを通じた地域貢献、地域活性化」、「スポーツ教育の推進」、「スポーツ科学の研究とその成果の社会還元」に取り組んでいる。

- 6) 奨学目的の寄付を有効に活用した寄付講座及び共同研究の基盤となる共同研究講座を設置して、教育研究の豊富化や活性化を図り、人材を養成するとともに共同研究講座の開設を推進し、産学連携の強化を図り、研究成果の社会実装化を目指す。2019(令和元)年度末時点で、17の寄付講座と21の共同研究講座が設置されている。

(大総務3-2 令和元年度 事業報告書 「(6) 寄付講座」・「(7) 共同研究講座」)

### 《他学との連携について》

- 1) 他の大学及び高等学校との間においても、次のとおり連携協定を締結し、それぞれの協定に基づき、教育・研究等の推進に取り組んでいる。

- (1) 早稲田大学：医学と建築学の融合を図り、次世代環境医療、エコキャンパス・ホスピタル及び病院建築に関する研究を推進するため、2009(平成21)年3月に研究協力協定を締結した。4つのテーマのうち3テーマは研究成果を新病棟において実現させ終了した。現在は感染環境制御をテーマに、定例的に共同研究会を開催し共同研究を推進している。

(大再編9-1 学校法人順天堂と学校法人早稲田大学との共同研究に関する覚書)

(大再編9-2 次世代環境医療研究会組織図)

(大再編9-3 2014(平成26)年2月21日(金)東京新聞「東京消防庁新基準適用第1号 順天堂の新病棟で訓練」)

- (2) 学校法人女子美術大学：2015(平成27)年5月20日付で連携・協力に関する基本協定を締結した。同校の創立者の一人で、校主であった佐藤志津は順天堂第二代堂主佐藤尚中の実の娘であり、第三代堂主佐藤進の妻であった。佐藤志津が亡くなった後は佐藤進が校主・校長に就任し、その後、第四代堂主佐藤達次郎が同校の理事長、学長を務めるなど、同校とは歴史的に強い結びつきがある。芸術・癒し・デザインの分野に秀でた同校と、医療・健康・スポーツの分野に強みを持つ本学が協定を結んだことで、ヒーリングアート・癒し・スポーツメンタルなどを切り口とした様々な分野、領域での連携協力や新たな取組みが期待される。2020(令和2)年3月24日には、本協定に基づいて創設された「佐藤志津・小川秀興賞」の第4回授与式が挙行された。この賞は、女子美術大学卒業制作作品の中から優れた作品を表彰するもので、受賞作品はヒーリングアートとして1年間、順天堂医院B棟のエントランスに展示されている。

(大総務9-5 学校法人順天堂と学校法人女子美術大学が連携・協力に関する基本協定を締結)

- (3) 電気通信大学・星薬科大学：2016(平成28年)12月1日付で、3大学の「URA」University Research Administrator」人材の交流を契機とした、学術連携交流に関する3大学連携協定を締結した。各大学の異なるブランド領域(順天堂大学における医学、電気通信大学における工学、星薬科大学における薬学)を、URA人材を活用して異分野連携を促進するための組織的連携関係を構築している。また、JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)「未来社会創造事業」機械・人間知とサイバー・物理世界の漸進融合プラットフォーム(平成30・31年度採択：電気通信大学代表)に、星薬科大学と連携して参画した。

(大総務9-6 国立大学法人電気通信大学と順天堂大学との学術連携交流協定書)

(大総務9-7 電気通信大学・順天堂大学・星薬科大学による学術連携交流協定締結)

## 第9章 社会連携・社会貢献

(4) 立命館大学：2015(平成27)年10月6日付で、研究・教育内容の充実と学術・文化の発展及び科学技術の高度化を図ることを目的とした学術交流に関する包括協定を締結した。これにより、従来より両大学が進めている文部科学省と科学技術振興機構が推進する「革新的イノベーション創出プログラム」(Center of Innovation=COI)において、「スポーツ・健康」と「セルフケア・医療」の融合による健康維持・増進を図り全ての人々をアクティブな状態へ誘導する「アクティブ・フォー・オール」による実践の場として、愛知県東郷町を社会実装の拠点とし、健康管理サポートシステム「eケア」を用い、住民の健診後の健康セルフケアを、携帯端末アプリを活用し、女性医師やジムトレーナーがアドバイスを返信する取り組みを自治体と連携し、都下企業の健康管理組合での評価など社会実装を図っている。

(大総務9-8 順天堂大学と立命館大学が学術交流協定を締結)

(5) 明治大学：2015(平成27)年12月18日付で、教育・研究活動の交流と連携の推進を目的とした大学間交流に関する包括協定を締結した。本学と明治大学は、2002(平成14)年7月から首都大学院コンソーシアムでの単位互換協定や教員の連携による共同研究などの取り組みを行っている。本協定の締結により、これらの連携を更に推進・発展させ、教職員及び学生の交流や施設の相互利用などを通じて両大学の教育研究力の更なる向上をはかるとともに、医学部を有する本学と法・理工・農学部を有する明治大学が互いの特長を活かして社会に貢献していくことを目指す。図書館の相互利用や明治大学公開講座「江戸・明治期の医学・医療の歴史」への講師派遣を行っている。

(大総務9-9 順天堂大学と明治大学が包括協定を締結)

(6) 東京藝術大学：2016(平成28)年3月23日付で、教育研究・人材交流・社会貢献・国際交流等の一層の充実と質の向上を図り、学術研究の発展と有為な人材の育成に寄与することを目的とした連携・協力に関する包括協定を締結した。音楽セラピー等の共同研究の推進や、解剖・病理分野と美術解剖学における連携、順天堂医院におけるホスピタルアート・ヒーリングアートの展開など、両大学の保有する世界最高水準の教育・研究資源の有効活用を図るとともに、「医学・医療と芸術の融合」による相乗効果を最大化することで、医学・芸術両分野の更なる発展を目指している。2019(令和元)年12月8日には、合同公開シンポジウム「医療と芸術の融合を目指して」を本学講堂にて開催し、500名以上の参加者を得た。

(大総務9-10 順天堂大学と東京藝術大学が連携・協力協定を締結)

(大総務9-11 順天堂大学×東京藝術大学合同公開シンポジウム「医療と芸術の融合を目指して」)

(7) 大学院の連携について本学大学院医学研究科は、従来より、複数の大学院と両大学院間の交流と協力を推進し教育研究の充実を図るため、大学院学生が相互に必要な研究指導を受けることを目的とした特別研究学生交流協定を締結している。これまでに、東京大学大学院、京都大学大学院、北海道大学大学院、千葉大学大学院、鹿児島大学大学院、横浜市立大学大学院、福島県立医科大学大学院とそれぞれ特別研究学生交流協定を締結した。

(8) 高大連携については、2015(平成27)年3月に昭和第一高等学校と、同年8月に神田女学園高等学校と、それぞれ教育提携協定を締結した。また、2017(平成29年)5月に学校法人聖啓学園と連携協力協定を締結した。相互の交流を通じ、生徒の視野を広げ学習水準を

## 第9章 社会連携・社会貢献

高めるとともに、教育内容等への理解を深めるなど、大学教育と高等学校との連携を図り、互いの教育の更なる活性化を目指していく。

(大IR9-1 昭和第一高等学校との教育連携協定締結)

(大IR9-2 神田女学園高等学校との教育連携協定締結)

(大IR9-3 学校法人聖啓学園との教育連携協定締結)

### 《国際交流について》

1) 国際交流については、大学を挙げて積極的に推進し、2020(令和2)年3月末現在の大学間における国際交流協定校は、27カ国/地域・68機関となっている。

(大国交9-3 大学協力協定締結状況)

2) 海外の大学等との連携活動実績は、次のとおりである。

(1) 2019(令和元)年6月22日(土)、順天堂創立180周年、看護教育120周年「日中看護国際SYMPOSIUM～未来に連ぐ日中看護交流～」を開催した。このシンポジウムの趣旨は「日中両国の看護の歴史を学び、看護の教育、研究を通し看護の質向上と、より良い患者支援を目指す」であった。中国からは4名の来賓者の他、北京大学人民医院、中国医科大学、四川大学華西医学院、中日友好医院、首都医科大学附属兒童医院の5施設から教員や看護師17名が参加した。本学からは医療看護学部、保健看護学部、医療看護研究科の教員・大学院生及び6附属病院の看護師の427名が出席し、合計448名が参加した。

(大国交9-4 日中看護国際シンポジウムポスター)

(2) 順天堂大学－中国医科大学共同学術講演会を、2019(令和元)年10月18日(金)に開催した。中国医科大学とは1980年代から交流が始まり、2005(平成17)年3月には学術交流協定が締結された。2017(平成29)年9月に小川理事長が中国医科大学名誉教授称号の授与式と特別講演のため中国医科大学を訪問しており、今回のシンポジウムはそれに続くものである。

(大国交9-5 順天堂大学・中国医科大学共同学術講演会)

(3) 仁済大学－順天堂大学共同シンポジウムを、2019(令和元)年11月21日(木)に開催した。韓国・仁済大学とは2015(平成27)年11月に学術交流協定を締結し、2017(平成29)年に順天堂大学で、2016(平成28)年及び2018(平成30)年に仁済大学でシンポジウムを開催した。今回は第4回目の共同シンポジウムで、糖尿病学と心臓病学をテーマに双方の研究者が講演を行った。

(大国交9-6 第4回順天堂大学・仁済大学共同シンポジウムポスター)

(4) 2013(平成25)年から、東京医科歯科大学と相互協力体制を構築し、共同プログラムとして両校の留学生の日本文化交流や日本語教育事業を共同で実施している。

(大国交9-7 順天堂大学・東京医科歯科大学日本文化交流プログラム)

(5) 海外の大学等から順天堂大学への来訪・表敬訪問は、協定校をはじめ、中国・笹川同学会理事長一行、中国・国家衛生健康委員会 馬曉偉主任、ロシア・医師団、タイ・保健省一行など2019(令和元)年度は20件あった。

(大国交9-8 2019年度表敬訪問・行事一覧)

(6) 2020(令和2)年2月12日(水)、中国を中心に感染拡大が懸念されているコロナウィルスに関連して、本学及び日中医学協会からの医療義援物資の目録が、駐日中国大使館にて小川秀興理事長(学校法人順天堂理事長、及び公益財団法人日中医学協会理事長)より孔鉉

## 第9章 社会連携・社会貢献

佑 (KONG Xuanyou) 駐日大使へ渡された。

(大国交9-9 駐日中国大使館に医療義援物資の贈呈)

3) 2014 (平成 26) 年度に、医学部の外国人学生及び短期研修生の受け入れ増を視野に入れ、従来の英語版ホームページ (トップページ) のリニューアルを行った。既存の内容についてサイトのデザインを含めて順次更新を進めたところ、公開直後より、医学部での短期研修を希望する海外の学生・医師からの照会が数多く寄せられた。以降、受入数は増加傾向にあり、2018 (平成 30) 年度の医学部短期研修生受入数は 377 名と前年度から大幅に増加した。2019 (令和元) 年度は、380 名を超える受入数を予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響により 51 名が研修をキャンセルし、年間 335 名に留まった。今後の受入数は受入講座の負担を考慮すると、ある程度安定した水準を維持するものと思われる。

(大国交9-10 医学部短期研修生受入数の推移)

### 《その他の社会貢献活動について》

1) 本郷・お茶の水キャンパスのセンチュリータワー17階にある「日本医学教育歴史館」は、順天堂創立175周年記念事業の一環として開設され、日本の医学教育の歴史を資料等により検証できる本邦初の常設展示施設である。一般公開 (火・木曜日) しており、2019 (令和元) 年度の見学者は 817 名であった。

(大総務9-12 施設・関連団体ホームページ 「日本医学教育歴史館」)

**点検評価項目③：社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

### 【評価の視点】

- |                         |
|-------------------------|
| 1：適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価 |
| 2：点検・評価結果に基づく改善・向上      |

### 《社会連携・社会貢献について》

1) 社会連携に関する具体的な事業計画の策定及び各キャンパスにおける取り組み状況等の点検・評価等については、事業の有効性や適切性について学長を委員長とする社会連携推進委員会で審議し、検証している。今年度は、従来の各キャンパス分室に加え、各附属病院にも社会連携推進室の分室を設置し、社会連携活動を行った。委員会では各キャンパス及び附属病院から、各々の地域で実施した公開講座、シンポジウム、スポーツ教室、学生のボランティア活動等についての報告及びこれらの実績を踏まえた次年度計画の説明を受け、大学全体としての課題と改善策について情報共有を図った。

(大社連9-2 社会連携推進委員会議事録(令和元年6月))

2) 本郷・お茶の水キャンパス (医学部) では、東京都、新潟県、千葉県、埼玉県、静岡県の各地域卒業生を対象に、2019 (令和元) 年 6 月 25 日、11 月 19 日、「地域卒業生」向けの説明会及び「地域卒業生」として大学を卒業した臨床研修医からの報告会を開催した。報告会を開催することで方針に沿った貢献ができていくか検証している。「地域卒業生」としてのキャリアパスについての説明や情報交換を行い、将来、各地域での地域医療に貢献するための現状把握やキャリアプランについて考察するよう地域卒業担当教員が地域卒業生へ指導している。

(大医9-1 令和元年度 地域卒業生ユニット説明会(令和元年6月))

(大医9-2 令和元年度 地域卒業生の卒前・卒後報告会(令和元年11月))



## 第9章 社会連携・社会貢献

3) さくらキャンパス（スポーツ健康科学部・大学院スポーツ健康科学研究科）では、社会連携推進室さくら分室が関わる公開講座等において、参加者にアンケートを行い、次年度への課題や改善として活用している。また、毎年作成される社会連携事業実績報告及び次年度活動計画を作成する際に、改善・向上に向けた取り組みを検討している。

（大ス9-1 社会連携推進室会議記録(令和2年3月)）

4) 浦安キャンパス（医療看護学部・大学院医療看護学研究科）では、社会連携推進室（浦安キャンパス分室）と自治会、地域連携委員会学生による連絡会議を定期的で開催しており、活動状況について検証を行いながら、地域社会との連携及び貢献の推進を図っている。

また、高大接続プログラム部会において、プログラムの実施方針等について評価・検討を行い、改善点等の検証を行っている。

（大医看9-1 社会連携推進室連絡会議議事録(令和2年3月)）

（大医看9-2 高大接続プログラム部会議事録(令和元年9月)）

5) 三島キャンパス（保健看護学部）では、地域社会へ貢献するため公開講座や各自治体の委員活動、学生ボランティアに取り組んでいる。公開講座の適切性の評価については、参加者アンケート等を参考に公開講座企画委員会において実施している。また、国際交流事業等については、国際交流員会にて評価を行っている。

（大保看9-1 公開講座企画委員会議事録（令和2年3月））

6) 本郷・お茶の水キャンパス（国際教養学部）では、地域社会への貢献のため、定期的に市民公開講座やフォーラムを開催しており、毎年、教授会において、学部長から前年度の総括的な振り返り、反省の結果、今年度の方針が示されている。

（大国防9-1 国際教養学部教授会議事録(令和元年6月)）

7) 本郷・お茶の水キャンパス（保健医療学部）では、地域社会への貢献のため、市民公開講座や特別講演を開催しており、教授会において総括的な検証を行っている。

（大保医9-1 保健医療学部教授会議事録(令和元年12月)）

8) 本郷・お茶の水キャンパス（大学院医学研究科）では、大学院医学研究科委員会において各種連携協定の締結・更新の審議を行っている。また、学外施設学修申請に基づく学外組織との連携による研究指導についても、当該学生の研究内容や期間等を確認のうえ、可否の審議を行っている。

（大院医9-1 大学院医学研究科委員会議事録(令和2年3月)）

#### 《産学官連携について》

1) 革新的医療技術開発研究センターでは、企業や研究機関等との共同研究を推進するため、オープンイノベーションプログラム GAUDI を発足し、会員制の研究開発支援プログラムを行っている。革新的医療技術開発研究センター運営委員会においては、会員の支援状況や共同研究等の進捗状況が報告され、医師・生物統計家・研究事務局員等の多職種から構成される委員による評価・改善が行われている。改善が必要な事項についてはその方策を協議し実践している。

（大革新9-4 革新的医療技術開発研究センター運営委員会議事次第2020年3月）

2) 産学官による連携協定を締結する愛知県東郷町と東郷町施設サービス(株)とは、協定書に基づく東郷町民の健康寿命の延伸、生涯スポーツ及び地域の振興に寄与することを目的として、事業や共同研究を円滑に実施するための会議を定期的で開催し、進捗状況、評価及び改善に

## 第9章 社会連携・社会貢献

ついて検証している。また、検証結果に基づき事業や共同研究体制の拡充にむけて東郷健康寿命延伸協議会を開催している。これら取り組みの一部は2019(令和元)年12月に中日新聞紙面で紹介された。

(大ス9-2 令和元年12月 東郷健康寿命延伸協議会(第5回会議議事録))

### 《他学との連携について》

- 1) 研究成果を社会に還元する目的で締結された連携協定については、それぞれ定期的にシンポジウムや報告会等を開催することで、活動の定期的な検証を行っている。

### 《国際交流について》

- 1) 毎月開催される JIIC (Juntendo University International Center) 教育委員会において、各研究科・学部から報告のあった国際交流に関する事項や国際共同研究・教育等具体的な業務の検証、各留学生の奨学金の受給状況、学生の生活に係る検討事項の共有、来訪団体の目的確認と対応などについて適切に実施しているか検証を行っている。

(大国交9-11 第118回国際交流センター教育委員会議事録)

## (2) 長所・特色

### 《社会連携・社会貢献について》

- 1) 社会貢献については、本学の特性を活かし、教育、研究、臨床成果の社会的な還元という観点から公開講座やシンポジウム・学術講演会等を数多く開催している。医学関係では最新の医療情報や技術等の提供があり、スポーツ関係では子供やスポーツに興味のある青少年等のための運動プログラム、高齢者にはロコモティブシンドローム予防のプログラムを行い、看護関係では市民参加型の体験学習等を行っている。これらは数年前より実施しているが、市民からの需要が高く、自治体等からの要望が多い。引き続き、本学の特性を活かし、公開講座、シンポジウム、学術講演会等を開催することで、教育、研究、臨床成果の社会への還元を図っていく。

(大社連9-3 社会連携推進室ホームページ)

- 2) 大学院医学研究科では、2019(令和元)年度の博士課程入学志願者の3割以上が社会人であり、「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」採択により2013(平成25)年度に設置された「次世代先導的がん研究者養成コース」は、がん治療認定医の申請資格の単位の一部として認められるなど、すでに社会の中で活躍する医師の生涯学習の機会として十分な役割を果たしている。また、連携大学院協定を締結している4研究機関より、2019(令和元)年度も19名の入学者があった。毎年度、各研究機関から入学者を迎え入れており、医学教育と医学研究の連携に貢献できている。2017(平成29)年度には、文部科学省の「基礎研究医養成活性化プログラム」に採択され、本学及び連携大学(東京大学、福島県立医科大学)をICTと循環型人材交流で結び、地域中核病院において必要とされる死因究明、遠隔病理診断、ゲノム医療の知識を身に付けた病理医を育成し、地域における病理医の配置実現を目指すプログラムを開始している。

引き続き、ホームページや募集要項、研究科説明会等において、社会人入学者の増加に向けた周知を図る。また、「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の設置コースについては、補助終了後も大学院のコースワークや授業科目として開講している。連携大学院については、大学院生の研究指導のみならず、本学と連携機関の共同研究への発展の可能性も視野

## 第9章 社会連携・社会貢献

に入れ、一層の連携強化を図る。

- 3) スポーツ健康科学部・大学院スポーツ健康科学研究科では、社会連携推進室分室により、周辺自治体との連携が進んでおり、市町村との公開講座・学術支援・スポーツイベント・学生ボランティア派遣等の活動を行っている。周辺自治体に共通したテーマとして「子どもたちの体力向上」、「中高齢者への健康指導・体力指導（ロコモ対策）」などの要望が多く、多くの自治体が抱えている問題に対し、本学部・研究科が中心的な役割を果たしている。今後も、社会連携協定を締結した自治体と合同で公開講座やシンポジウム・学術講演会・スポーツイベント等の行事を積極的に開催することで地域に貢献していく。更に、中高齢者への健康・運動指導やオリンピック・パラリンピック参画プログラムへも積極的に参加していく。
- 4) 医療看護学部・大学院医療看護学研究科では、定期的に健康増進や保健衛生に関するテーマで公開講座や高大接続プログラム等を開催し、教育研究の成果を社会に還元している。今後も公開講座・高大接続プログラム等を継続して開催するとともに、支援が必要な子ども・高齢者・在宅患者・被災地等への学生ボランティア活動、自治体との連携協力による講演会・防犯活動・調査研究活動等を通じて、地域住民の健康増進、保健衛生に貢献していく。
- 5) 保健看護学部では、2019（令和元）年度の公開講座は当初8回計画していたが、3月に開催予定であった2講座が新型コロナウイルス感染症対策のため次年度へ延期となった。今後も同様な状況が起り得るため、Webを活用し公開講座を実施するなど地域住民への健康増進等に貢献できるよう検討していく。病院・施設・自治体などへの学生ボランティア活動も継続して推進していく。三島市及び周辺自治体の協力の下、教育に地域住民の参加（教育ボランティア・模擬患者）を得て、学生への教育効果を高めるとともに地域住民の健康増進に貢献していく。  
（大保看9-2 三島市との協定書）
- 6) 国際教養学部では、定期的に市民公開講座やフォーラムを開催し、教育研究の成果を社会に還元している。今後、社会連携担当教員の選出も視野に、大学の社会連携推進室と協同で、学部の社会連携・社会貢献を活性化させ、更なる充実を図る。  
（大国教9-2 市民公開講座チラシ）  
（大国教9-3 持続可能な高齢社会フォーラムチラシ）
- 7) 保健医療学部では、市民公開講座やAI等の最新技術を持つ企業を招聘した特別講演、国際シンポジウムを開催するなど、教育研究の成果を社会に還元している。今後、実施内容や開催頻度を検討の上、更なる充実を図る。  
（大保医9-2 保健医療学部市民公開講座ポスター）  
（大保医9-3 保健医療学部AI特別講義ポスター）  
（大保医9-4 保健医療学部国際シンポジウムチラシ）

#### 《産学官連携について》

- 1) 文部科学省「研究成果展開事業センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム」において、2015(平成27)年度から立命館大学と連携し、空間価値を変える新しいスポーツ健康技術(スマートウェア技術、空間シェアリング技術、運動誘導/継続技術)と、寝たきりゼロを目指す「ロコモの見える化と予防法の開発」を行っている。  
本学は、2021(令和3)年度まで(株)ニッピ、東急不動産(株)、花王(株)、東郷町施設

## 第9章 社会連携・社会貢献

サービス（株）と協働し「運動」を媒介に「スポーツ・運動」と「医療」の両側面から健康を維持・増進し、全ての人々をアクティブな状態へ誘導し、時間と空間を共有することで、「日本の誇るべき絆社会」の実現を目指している。これら実装の場として、本学と連携協定を締結している千葉県内の自治体（白井市・成田市）に加え、千葉県富里市、愛知県東郷町でフィールド研究を行い、製品化、システム化など具体的な社会実装へ向かう取り組みを実施し、革新的なイノベーションを産学官連携で実現したい。

- 2) 国立研究開発法人理化学研究所との共同研究の成果としては、子宮体がんに関する新たなバイオマーカーの発見と、遺伝子検査の改善により子宮体がん手術の患者負担を大きく軽減する革新的医療技術の輪郭が見えてきたことが挙げられる。多くの学外研究機関の支援も得て実用化を加速中である。また本件は海外研究機関との取り組みにも着手している。論文投稿に関しては当機関との連名数は27件。知財に関しては、血液内科・早稲田大学との共願により1件出願、婦人科の1件が欧州特許査定、国内特許査定、呼吸器外科の1件が審査対応中である。また、2019(令和元)年12月20日に第7回理研・順天堂共同研究発表会を開催し（於：A棟13階カンファレンスルーム）共同研究者間並びに本学研究者間において新技術や研究内容の情報交換を行った。

今後は、上記案件の実用化促進とともに新たな共同研究テーマの探索や、活発な情報共有・機動的連携を進めたい。

（大革新9-5 第83回順天堂・理研研究戦略会議資料5-1）

（大革新9-6 第7回理研・順天堂共同研究発表会ポスター）

（大革新9-7 順天堂 CO-CORE 掲載：新たなバイオマーカーが子宮体がん手術を変える！  
（順天堂×理研の共同プロジェクト））

- 3) 花王株式会社との研究包括契約に基づく取り組みとして、現在10件の共同研究が進捗しており、うち4件が2019(令和元)年度に新規にスタートした。多くの医局、病院が関与しており多岐にわたる。2019(令和元)年度の論文投稿数は3件、学会発表4件（うち国際会議1件）であった。連携協議会を開催し推進体制の強化をしたことが上記活動を活発化させた。2020(令和2)年度は比較的大型の調査研究もスタートする予定である。同社とも、情報交換の機会を増やすとともに研究成果の実用化・社会貢献を目指して、更なる研究進捗を促していきたい。

（大革新9-8 第6回花王・順天堂連携協議会アジェンダ）

### 《国際交流について》

- 1) 国際交流センター長を中心として、JUIC教育委員会が毎月開催されている。委員会では、各研究科・学部から報告のあった国際交流に関する事項のほかに、定型的な報告事項として、国際交流協定校情報、来訪団体、海外からの短期研修受入状況、留学生状況、奨学金、英語版HP、文化教育活動等の報告等を行っている。本学の国際交流の情報が集約できるよう有効に機能している。

英語版HPの更新後、海外からの照会数が増加し、その結果として2018(平成30)年度の医学部短期研修受入数は377名と大幅に増加した。加えて、他学部においても協定校との交流プログラム等が活発化し、2019(令和元)年度は大学全体で470名の短期留学生を受入れた。こうした海外からの関心の高まりを受け、JUIC教育委員会においても、今後、教育の質と受入学生の質を維持するため、各学部・受入講座と連携し受入条件について検討していく。ま

## 第9章 社会連携・社会貢献

た、国際レベルでの科学研究や共同研究に関する事項については、各研究科・学部、情報戦略・IR推進室、研究戦略推進センター、革新的医療技術開発研究センターとの更なる連携を目指す。

(大国交9-12 留学生の研修・交流活動について)

### (3) 問題点

#### 《社会連携・社会貢献について》

- 1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行を鑑み、2月以降に予定していた公開講座やイベント等は、複数開催を中止とした。感染症の流行状況にもよるが、今後の開催にあたっては、感染防止対策に細心の注意が必要となる。自治体等からの要望があれば、オンライン等を使った公開講座の開催等、新たな事業展開を模索する必要も考えられる。

#### 《産学官連携について》

- 1) 国立研究開発法人理化学研究所との連携・共同研究に関しては、成果の社会還元を実現することが大きな課題である。生まれつつある革新的技術ーバイオマーカーによる子宮体がん手術改革ーの早期実用化をあらゆる対策を講じて加速することが求められる。今後とも論文を通しての社会への情報提供や知財権の確保にも留意する必要がある。更に診断薬・機器メーカー等と連携して診断薬や診断システムの開発にも目を向けていきたい。2020(令和2)年度は引き続き共同研究発表会の開催等を通じて研究者間の情報共有を図り、研究促進とともに上記課題を改善していきたい。
- 2) 花王株式会社との研究包括協定に基づく共同研究については、10件もの多数の共同研究が推進されており、これらの研究進捗の見える化や、論文や学会発表、知財出願を介した社会貢献面の点検・推進にも留意する必要がある。今後は、引き続き連携協議会を開催して新たなテーマの立ち上げや上記課題の改善を進める。オープンイノベーションプログラム GAUDI でも支援を行い、更に活性化したい。

#### 《国際交流について》

- 1) 海外からの関心の高まりを受け、多くの短期研修生・外国人研究者・長期留学生在が本学に来訪し、その宿舎の確保が困難な状況が慢性的に生じている。引き続き、実質的な運用・効率的な案内方法の構築、日常生活のサポートといった、受け入れ環境の一層の改善が求められており、関係各所と調整していく。

### (4) 全体まとめ

地域社会との連携は「社会連携推進室」、研究機関との連携は「研究戦略推進センター」及び「革新的医療技術開発研究センター」、国際交流・国際化は「国際交流センター」がそれぞれ中心的な役割を果たし、全学を挙げて推進している。自治体との連携協定締結も進み、教育研究成果を社会に還元する各種取り組みが行われている。公開講座・シンポジウム開催や講師派遣も積極的に行われている。他学、学外研究機関、企業等との連携も進み、特許出願等の成果が出ている。また、医学部附属病院を通じた地域への貢献も果たしている。

## 第9章 社会連携・社会貢献

## (5) 根拠資料

資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
1	大総務2-1	法人ホームページ 「各種方針」 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/policy.html">https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/policy.html</a>
2	大社連9-1	学校法人順天堂社会連携推進室運営規程
3	大総務9-1	各学部・研究科の社会連携・社会貢献に関する方針
4	大研戦9-1	順天堂大学産学官連携ポリシー
5	大研戦9-2	順天堂大学研究戦略推進センター管理運営内規
6	大革新8-1	順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程
7	大革新9-1	GAUDI パンフレット
8	大総務9-2	連携協定締結先一覧
9	大外交9-1	順天堂大学国際交流センター運営規程
10	大外交9-2	順天堂大学 国際化ビジョン
11	大総務9-3	各学部・研究科・附属病院における社会連携・社会貢献の取組み
12	大研戦9-3	大学・大学院ホームページ 本学について 教育改革の取組みなど センター・オブ・イノベーション (COI) <a href="https://www.juntendo.ac.jp/university/about/education/">https://www.juntendo.ac.jp/university/about/education/</a>
13	大ス9-1	学校法人順天堂と国立大学法人鹿屋体育大学連携協定書
14	大革新9-2	順天堂大学と理化学研究所が包括的基本協定
15	大革新9-3	順天堂大学と花王が産学連携の研究包括契約を締結
16	大総務9-4	学校法人順天堂と東急不動産株式会社が包括連携協定を締結
17	大総務3-2	令和元年度 事業報告書
18	大再編9-1	学校法人順天堂と学校法人早稲田大学との共同研究に関する覚書
19	大再編9-2	次世代環境医療研究会組織図
20	大再編9-3	2014（平成26）年2月21日（金）東京新聞「東京消防庁新基準適用第1号 順天堂の新病棟で訓練」
21	大総務9-5	学校法人順天堂と学校法人女子美術大学が連携・協力に関する基本協定を締結
22	大総務9-6	国立大学法人電気通信大学と順天堂大学との学術連携交流協定書
23	大総務9-7	電気通信大学・順天堂大学・星薬科大学による学術連携交流協定締結
24	大総務9-8	順天堂大学と立命館大学が学術交流協定を締結
25	大総務9-9	順天堂大学と明治大学が包括協定を締結
26	大総務9-10	順天堂大学と東京藝術大学が連携・協力協定を締結
27	大総務9-11	順天堂大学×東京藝術大学合同公開シンポジウム「医療と芸術の融合を目指して」
28	大IR9-1	昭和第一高等学校との教育連携協定締結
29	大IR9-2	神田女学園高等学校との教育連携協定締結
30	大IR9-3	学校法人聖啓学園との教育連携協定締結
31	大外交9-3	大学協力協定締結状況

## 第9章 社会連携・社会貢献

資料 No.	各部署の 資料整理No.	資料名称
32	大国交9-4	日中看護国際シンポジウムポスター
33	大国交9-5	順天堂大学・中国医科大学共同学術講演会
34	大国交9-6	第4回順天堂大学・仁済大学共同シンポジウムポスター
35	大国交9-7	順天堂大学・東京医科歯科大学日本文化交流プログラム
36	大国交9-8	2019年度表敬訪問・行事一覧
37	大国交9-9	駐日中国大使館に医療義援物資の贈呈
38	大国交9-10	医学部短期研修生受入数の推移
39	大総務9-12	施設・関連団体ホームページ 「日本医学教育歴史館」 <a href="http://www.juntendo.ac.jp/jmehm/">http://www.juntendo.ac.jp/jmehm/</a>
40	大社連9-2	社会連携推進委員会議事録(令和元年6月)
41	大医9-1	令和元年度 地域枠学生ユニット説明会(令和元年6月)
42	大医9-2	令和元年度 地域枠学生の卒前・卒後報告会(令和元年11月)
43	大ス9-1	社会連携推進室会議記録(令和2年3月)
44	大医看9-1	社会連携推進室連絡会議議事録(令和2年3月)
45	大医看9-2	高大接続プログラム部会議事録(令和元年9月)
46	大保看9-1	公開講座企画委員会議事録(令和2年3月)
47	大国教9-1	国際教養学部教授会議事録(令和元年6月)
48	大保医9-1	保健医療学部教授会議事録(令和元年12月)
49	大院医9-1	大学院医学研究科委員会議事録(令和2年3月)
50	大革新9-4	革新的医療技術開発研究センター運営委員会議事次第2020年3月
51	大ス9-2	令和元年12月 東郷健康寿命延伸協議会(第5回会議議事録)
52	大国交9-11	第118回国際交流センター教育委員会議事録
53	大社連9-3	社会連携推進室ホームページ <a href="https://www.juntendo.ac.jp/cooperation/about/message.html">https://www.juntendo.ac.jp/cooperation/about/message.html</a>
54	大保看9-2	三島市との協定書
55	大国教9-2	市民公開講座チラシ
56	大国教9-3	持続可能な高齢社会フォーラムチラシ
57	大保医9-2	保健医療学部市民公開講座ポスター
58	大保医9-3	保健医療学部 AI 特別講義ポスター
59	大保医9-4	保健医療学部国際シンポジウムチラシ
60	大革新9-5	第83回順天堂・理研研究戦略会議資料5-1
61	大革新9-6	第7回理研・順天堂共同研究発表会ポスター
62	大革新9-7	順天堂 CO-CORE 掲載:新たなバイオマーカーが子宮体がん手術を変える!(順天堂×理研の共同プロジェクト)
63	大革新9-8	第6回花王・順天堂連携協議会アジェンダ
64	大国交9-12	留学生の研修・交流活動について